

第71回 宮城県中学校総合体育大会（バドミントン競技）大会要項

1. 期 日	令和4年7月22日（金）	開場・受付 8：00	監督会議 8：30
		全体連絡 9：00	試合開始 9：30
		女子団体戦（決勝まで）	
	23日（土）	開場・受付 8：00	監督会議 8：30
		全体連絡 9：00	試合開始 9：30
		男子団体戦（決勝まで）	
	24日（日）	開場・受付 8：00	監督会議 8：30
		連絡 9：00	試合開始 9：30
		女子個人戦（決勝まで）	
	25日（月）	開場・受付 8：00	監督会議 8：30
		連絡 9：00	試合開始 9：30
		男子個人戦（決勝まで）	

2. 会 場 7月22～25日・・・宮城野体育館

3. 競技種目 男女団体戦（2複1単） 男女個人戦 シングルス及びダブルス

※団体戦出場者は登録メンバーとする。但し変更のある時は、朝の監督会議で申し出ること。

4. 競技規則 令和4年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び本大会運営規定による。

5. 大会規則

（1）競技方法

- ① 各種目ともトーナメントにより優勝を決定する。
- ② 団体戦は複2，単1の対抗戦とし，複単複の順に行う。（どの試合も2点先取勝ちとする。なお，同一選手が単と複及び複と複を兼ねて出場することはできない。）
- ③ 個人戦は単と複を兼ねて出場することはできない。

（2）大会競技規則

- ① 準々決勝・準決勝及び決勝は，団体戦及び個人戦とも21ポイントで行う。ただし，これ以外は15ポイントで行う。延長ゲームについては，2点差がつくまで行う。
（※15ポイント時…14オール→最大21ポイント 21ポイント時…20オール→最大30ポイントまで。）
- ② インターバルは，ゲームとゲームの間が120秒以内，ゲーム中は60秒以内でとることができる。インターバルの際は，監督がコートまで行ってアドバイスをを行う。ベンチでは行わない。ゲーム間インターバルの際には，プレーヤーのチェンジエンド，およびベンチの交換（個人戦の場合）を行う。
- ③ 競技の服装は令和4年度（公財）日本バドミントン協会検定合格ウェアとする。
- ④ ネックレスやミサंगाは身につけないこと。ただし，防汗や整髪のためのハチマキは可とする。
- ⑤ 着衣背面に学校名を明示する。（文字は，鮮明な日本字とする。文字列の大きさは6～10cm以内とする。）
- ⑥ 応援は自然発生的な拍手のみとし，プレー中に行わない。
- ⑦ ベンチに入っている監督・コーチ・入場許可者以外のサイドコーチは認めない。
- ⑧ 水分補給はふたつきのボトルのみ認める。（ペットボトル可）ただし，ゲーム中の水分補給は主審にとわって行う。コート脇にバッグを持参し，その中に入れておくこと。（カゴは設置しません。）
- ⑨ コロナウイルス感染予防対策については別紙参照のこと。（※後日事務局より連絡）

（3）申込方法

所定の申込書を県中体連のホームページよりダウンロードし，必要事項を記入して，直接専門部委員長に郵送または持参すること。

横30cm以内
縦20cm以内

仙台中

①申込先 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字三所南23-2 仙台市立岩切中学校内
宮城県中体連バドミントン専門部事務局 佐藤 壘 宛

②申込締切 令和4年6月22日(水)必着(17:00まで)

※出場校は、入力したエクセルシートを miyagibad@yahoo.co.jp までメールにて送信すること。その際、件名に学校名を入れること。

※職印を押印した申込書等をPDF化(フルカラー・300dpi以上に限る)したのも原本として認める。(エクセルシートとPDFの両方をメールにて送信してください。)

※申込書に使用する漢字は常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字を特に希望する場合は専門部へ相談すること。

③冷房費について

選手及び応援生徒の健康に考慮して、大会期間中の競技場は冷房を入れて競技を行う。

出場する学校は大会当日、冷房費を持参し、本部受付で納入すること。

団体戦出場校 男女それぞれ1チーム2000円 個人戦出場校 選手一人につき300円

(4) 登録人員

① 団体戦

- ・監督1名(当該校の校長または教員、部活動指導員に限る。)
- ・コーチ1名(校長が認めた外部コーチ又は校外コーチ、もしくは当該校の教職員。いなくても可。)
- ・マネージャー1名(当該校の生徒。いなくても可。)
- ・登録選手5~8名

② 個人戦

- ・監督1名(当該校の校長または教員、部活動指導員に限る。)
- ・個人戦出場許可者1名(校長が認めた者、もしくは当該校の教職員。いなくても可)
- ・登録選手

(5) 使用器具

- ・令和4年度(公財)日本バドミントン協会検定合格器具とする。
- ・シャトルは日本バドミントン協会の検定に合格した水鳥球を使用する。ただし、準々決勝以降は、上位検定球を使用する。

(6) 審判について

- ① 団体戦は敗者校が審判を行う。主審は原則として教員がするものとする。線審、得点係は生徒でよい。(1巡目については本部で指定する。)
- ② 個人戦の初戦審判は本部で指定する。ただし、原則として線審は勝者校、主審・得点係は敗者校の生徒が行う。(1巡目については線審、得点係を主審校が行う。)
- ③ 団体戦に出場する学校の監督は審判技術を磨き、大会当日まで主審をできるようにしておくこと。
- ④ 団体戦、個人戦ともに、準決勝からは4人で線審を行う。

(7) 選手変更について

- ① 団体戦においては、選手の変更を認める。ただし、選手の追加は認められない。
選手変更は、大会初日の監督会議において、選手・コーチ変更届を提出することで成立する。
- ② 個人戦においては、いかなる理由があろうとも、選手の変更は認められない。

(8) 外部・校外コーチ・出場許可者について

※ 外部コーチ……校長の承認した者で、日常的に学校部活動の指導にあたっている者。

校外コーチ……クラブ・道場などの指導にあたっている者。

出場許可者……上記のコーチで、個人戦のベンチに入場するもの。

① コーチ・出場許可者の資格について

コーチ・出場許可者においては、大会が学校教育管理下にあることを認識し、その品位を保つために、服装を整えるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力するものとする。外部コーチ・校外コーチ・出場許可者については、当該校の校長・教員以外でもよい。

② 外部・校外コーチ・入場許可者の承認について

- ・本大会におけるコーチには、外部コーチ・校外コーチともに校長が認めた者をコーチとして認める。
- ・コーチ・入場許可者は校長が認めた者とし、大会ごとに「コーチ・入場許可者確認書」を大会事務局に参加申込と同時に提出することとする。
- ・コーチ・入場許可者についての紹介は、当該校の顧問のみが校長に進言するものとする。
- ・校長が認めたコーチ・入場許可者においても、コーチとしての品位に欠ける場合、大会運営に非協力的な場合は、大会事務局はその理由を当該校顧問に言明し、ベンチ入りを認めないことがある。
- ・コーチ・入場許可者が当該校の教職員の場合は、「コーチ・入場許可者確認書」の提出の必要はない。

③ コーチ・入場許可者の変更について

- ・コーチ・入場許可者の変更については、監督会議の前に当該校長の書面によって大会事務局まで申し出ること。
- ・大会事務局は、監督会議においてその変更を報告すること。

④ その他

- ・複数校のコーチの兼任は認められない。そのことについては顧問が事前に確認しておくようにする。
- ・競技に対する質問は、団体戦においては監督及び競技者とする。（コーチは認めない。）また、個人戦における質問は競技者のみとする。
- ・その他、不備の点が生じた場合は、競技委員長を中心に大会事務局が最終判断を下すことができる。
- ・個人戦のベンチには、原則として監督が必ず入るものとする。別のコートでの試合などでそれができないときには、監督の分の座席を空けたうえで、個人戦入場許可者がベンチに入ること。

⑤ 監督・コーチ・入場許可者の服装について

ベンチ入りする監督・コーチ・入場許可者の服装は、襟付きシャツ・長ズボン（ジャージ可）とする。

6. その他

(1) 会場への入場制限について

- ① 感染症予防の観点から、生徒および保護者の入場は、制限を設ける。
詳細については、別紙の感染予防対策を参照のこと。

(2) 駐車場について

宮城野体育館は駐車場が限られているので、各校に駐車許可証を発行し、駐車許可証を持たない車の体育館の駐車場への駐車を禁止とする。近隣の商業施設への駐車は、呼び出しの放送などで試合進行の妨げになるので厳禁とする。バスなどの大型車を利用の場合は、事前に各地区の専門委員へご相談ください。

(3) 会場について

- ① 会場の使用については、各学校での事前指導を徹底すること。
- ② 観客席での飲食は可とする。
- ③ 土足は厳禁とする。
- ④ フラッシュを使用した写真撮影は禁止する。
- ⑤ ゴミは持ち帰りを原則とする。
- ⑥ 会場内、会場外ともに、ラケットを使用した練習は禁止する。
- ⑦ ビデオカメラおよびタブレット端末等での動画撮影は、三脚スタンドを使用して、試合するコートのベンチ脇から可とする。
- ⑧ 撮影した写真や動画のSNS等へ掲載を禁止する。また、動画のライブ配信等も禁止とする。